

見守り 新鮮情報

第92号

「**不要な着物**を譲ってほしい」と女性から**電話**があり、少し不安だったが「ちゃんとした人を行かせる」と言うので来てもらった。**着物はざっと見ただけ**で、今度は「**貴金属を見せて**」と言う。断ったが「見るだけだから」

としつこく言うので見せたら、**半ば強引に**着物5点と貴金属を宝石箱ごと**6万7千円**で**買い取られて**しまった。キツネにつままれたような気分で、後になってとても**後悔**し、翌朝すぐに**やめたいと申し出た**が、**既に手元**にないと言われた。

(60歳代 女性)



着物の訪問買取… あとで後悔しても戻ってこない!

■平成22年5月

■関西地方



ひとこと 助言

慎重にね!



見守るくん

- 「不要な着物はないか」と電話があり、その後来訪する訪問買取の相談が増加しています。事例のように、始めは「着物」の買い取りを持ちかけますが、本当の目的は「貴金属」ではないかと疑われるケースも目立ちます。
 - 「電話は女性だったので来訪を承諾したが、来たのは男性だった」「部屋の中を勝手に物色された」「断ると『手ぶらでは帰れない』と居直られた」など、軽い気持ちで頼んだのに、怖い思いをしたり、強引な勧誘にあったりするケースが多く見られます。
 - 業者が訪問する形態でも、買い取りの場合はクーリング・オフができません。また、後になって「やめたい」と申し出ても、「既に処分した」として取り戻せないことがほとんどです。
- 心配なときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください。